

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

コ ロ ナ 禍 で 思 う こ と

北 野 昌 彦

(社会医療法人寿会 富永病院 副院長)

脳神経外科専門の病院として1970年に浪速区で開設した富永病院は、この50年間で日本有数の手術数と治療成績を誇る脳神経外科病院に発展しました。このような富永病院に2008年5月に入職してから、早くも12年が経ちました。今回、思いがけなく執筆依頼をいただき恐縮すると共に、貴重な機会をいただきましたことに感謝しております。テーマは当たり障りのない、旅行や趣味の話がよいのですが、新型コロナウイルスでこれまでの日常が一変しました。ご批判があるかも知れませんが、コロナ禍が日本を含め世界中を震撼させている中で、1人の医師として思うことを書かせて頂きたいと考えますので、ご容赦ください。

新型コロナウイルスは、2019年12月に中国武漢で初めて検出されました。当時は、SARSやMERSのような新種のウイルスが流行するようだと認識するものの、現在の惨状を誰も予測していなかったのではと思います。日本では、1月16日に武漢から帰国した人の感染確認が最初です。その後、第一波と第二波を経験し、9ヶ月以上経過しています。しかし、「有効な治療薬は開発されるのか?」、「ワクチンがどの程度有効か?」、「集団免疫が得られるのか?」など、将来の展望を考え

る上で極めて重要な事について、未知の部分が多いのが現状です。そもそもコロナ禍が終息するかどうか不明で、今後も、withコロナの制約された生活が続ける必要があるかも知れないとの不安があります。

ただ、解ったこともあります。釈迦に説法ですが、未知のウイルスに対する感染制御の基本は、①ウイルスを周囲に飛散させ、二次感染を誘発する感染者の隔離と②健康人の感染防護の2点です。新型コロナウイルスでも、感染者の隔離を厳密に行うことができれば、このような全世界的なパンデミックにならなかったと考えられます。しかし、これまでのSARSやMERSと大きく違う点がありました。それは、感染力はあるが、無症状のまま発病しない不顕性感染者の存在です。このような不顕性感染者は、行動範囲が広い若者に多いことも解っています。無症状ですので、感染していることに気づかず、通常の生活を行い、無意識のうちに、周囲の健康人に二次感染をもたらしました。その結果、これまでの経験値を遙かに超える勢いで全世界に感染拡大したと考えられます。

感染者の中で、どのくらいの割合で不顕性感染者がいるかは、解明されていません。今年の2月に日本国中が大騒ぎになった、クルー



ズ船「ダイヤモンドプリンセス号」の全乗員にPCR検査が行われました。無症状のPCR陽性者の中には、その後発病した人も含まれていましたが、追跡調査の結果、発病しなかった不顕性感染者は17.9%と報告されています。この集団には60代から70代の人が多いという偏りがありましたが、看過できない多さです。全米の各地で行われた抗体検査の結果からも、不顕性感染者が25%～50%いると推定する報告があります。未知の部分の多いウイルス感染で何が正解なのかは不確かですが、有症状PCR陽性者を中心としたこれまでの知見は氷山の一角を見ている可能性もあり、感染者の全体を評価するのは時期尚早ではと考えております。

これらのことから、不顕性感染者の把握が重要と考えますが、国民全員にPCR検査を行うことは現実的ではありません。不顕性感染者をすべて発見できないことから、感染防御では、健常人の個人レベルでの感染防護が最も重要になります。市中感染が蔓延している状況では、周囲に不顕性感染者が潜んでいると想定して、不要不急の外出を控え、ソーシャルディスタンスを取り、手洗いマスクを推奨することが最善と考えています。

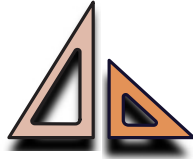
足下に目を向けますと、3月下旬に、武漢で下垂体腺腫の手術後に、手術室の医療スタッフ14人が感染したとの情報が全世界に発信

されました。これを受けて、日本脳神経外科学会などでも、慎重な手術判断するように勧告を出しました。この時期、大阪府でも市中感染が拡大し、当院脳神経外科でも、不急の手術を一時中止する方針といたしました。

その後、市中感染が収拾する傾向となり、5月15日に大阪モデルが青信号になりましたが、当院では延期した手術の再開が困難でした。慶應大学病院で、無症状の入院予定患者の6%でPCR陽性であったとの報告を無視できません。不顕性感染に気づかず手術することで、武漢での手術室クラスターのような事態を危惧したからです。このため、術前評価に新型コロナウイルス感染の有無の診断が必要と判断しました。PCR検査の感度は70%程度で、陰性者でも感染リスクがあることは承知していますが、現時点では最も確実な方法です。実際、4月初旬より、慶應大学病院に加えて、東京大学病院、虎ノ門病院などの首都圏の主な病院で、入院時検査として、PCR検査が病院負担で導入されています。遺伝子の研究施設が併設されるようなこのような病院では、迅速な対応が可能でしたが、当院では約2ヶ月の遅れの、6月1日から術前検査としてのPCR検査が可能となりました。これ以降、待機していただいていた患者さんの手術も順次再開方向となりました。ただ、救急の患者さんに関しましては、PCR検査では診断までに長時間を要するため、検査時間が短く、検体採取が容易な喀痰による抗原検査の導入を待っている状況です。このように、当院でもwithコロナ下での診療体制が徐々に整い、以前の日常を取り戻しつつあります。将来的には、救急隊が救急車内で、血圧や体温などを測定するのと同じルーチンで、喀痰による抗原検査ができるような簡易キットが開発されれば、病院到着後の無駄な時間を節約できるのではと、考えています。色々制約があり、実現は困難かも知れませんが、脳卒中急性期治療は、時間との勝負ですので、良い方向に進むことに期待したいと思います。



理事会報告



◎令和2年度9月定例理事会

日 時 令和2年9月14日〈月〉

午後8時～9時34分

場 所 WEB 会議システム (Zoom)

協議事項

1. 医師とケアマネジャーとの連絡会（11月28日〈土〉・午後2時・浪速区民センター）の演者について <徳田副会長>
今年度は、例年行っているグループワークは実施せず、規模を縮小して開催する予定。また、ブルーカード、A ケアカードについて講演の実施についても協議願いたい。

協議の結果、今年度はケアマネジャーからブルーカード、A ケアカードについてのアンケートを実施する方向で検討することとなった。

2. 浪速消防署の産業医の選定について <徳田副会長>
標記産業医の選定について協議願いたい。

協議の結果、あーべいんクリニックの池田秀博医師を推薦することとなった。

3. 認知症講演会の開催について <山本理事>
例年開催している認知症講演会の開催について協議願いたい。

協議の結果、一般市民向けの講演会であることから、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年度は見送ることとなった。

4. その他
なし。

報告事項

1. 大阪市医師会連合会委員会について（9月14日〈月〉） <有田会長>
次第は次のとおり。

▷協議事項

- (1) 令和元年歳入歳出決算の件
 - (2) その他
- ##### ▷報告事項
- (1) 令和3年度大阪市予算の編成に対する要望（8月19日）報告の件
 - (2) 大阪市立総合医療センター地域医療連絡協議会（7月30日）報告の件

▷連絡事項

- (1) 令和2年度大阪市立学校園教職員ストレスチェック制度にかかる面接指導業務委託契約の件
- (2) 大阪市保健事業（がん検診）の件
- (3) 大阪市予防接種事業の件
- (4) 大阪府外来医療計画に係る新規開業者向けおよび医療機器購入／更新者向け意向書の件
- (5) 大阪市重症心身障がい児者医療コーディネート事業への協力依頼の件
- (6) 発達障がいの診断状況等に関するアンケート調査への協力依頼の件
(詳細 略)

2. 日本生命病院開放型病院運営委員会について（9月5日〈土〉） <有田会長>
次第は次のとおり。

▷新規登録医申請医師の承認

▷病院診療実績及び病診連携実績

▷講演会・研修会等活動

▷意見交換他

(詳細 略)

3. 浪速区要保護児童対策地域協議会代表者会議について（9月11日〈金〉） <有田会長>

次第は次のとおり。

- ▷会長あいさつ
- ▷要保護児童対策地域協議会について
- ▷大阪市の現状について
- ▷浪速区における子育て支援の取り組みについて
- ▷こども相談センターを取り巻く状況について～現場からの報告～
- ▷閉会あいさつ

(詳細 略)

4. 学術講演会について

(9月5日<土>) <徳田副会長>

今回は定員15名までとして開催した。

講演内容は次のとおり。

演題 集学的治療によりDKD進展阻止を目指す！

講師 大阪警察病院

糖尿病・内分泌内科 部長

安田哲行 先生

出席者数 8名

共催 協和キリン株式会社

情報提供 持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ注射液 シリンジ KKF

(詳細 略)

5. 浪速消防署との情報交換会について

(9月7日<月>) <久保田副会長>

毎年9月に浪速消防局との情報交換会を行っており、当会からは久保田、原田、浪速消防署からは中内道雄氏(司令)と黒田睦氏(消防士)が出席した。報告によると令和元年中の消防隊の出場件数は245,105件 搬送人員は203,379人で、前年度に比べ出場件数は2,493件(1%)の増加、搬送人員は2,557人(1.3%)の増加となった(大阪市消防)。そのうち、浪速区は8,825件とのこと。また、搬送人員構成としては、令和元年度：軽傷58.1% 中等度40.2% 重症0.7%であった(※軽傷：外来で処置、中等度：2W以内の入院 重症：それ以上)。

今年から浪速区3病院への救急搬送実績のデータがあり、昨年度実績でなにわ生野病院864件、富永病院578件、愛染橋病院135件であった。なお、新型コロナウイルスでの搬送数は、浪速区内で令和2年1月より9月初めまでで168件あり、そのうち確実に陽性だったものは49件であった。

大阪市消防隊では9月までに7名の隊員がコロナ陽性(感染)となった。

(詳細 略)

6. 大阪中央地域産業保健センター運営協議会について

(9月4日<金>) <木田理事>

次第は次のとおり。

▷大阪中央地域産業保健センター運営協議会会長 挨拶

▷大阪中央労働基準監督署長 挨拶

▷令和元年度地域産業保健活動推進事業について

▷大阪中央労働基準監督署

▷その他

(詳細 略)

7. 自立支援型ケアマネジメント検討会議について

(9月9日<水>) <岡藤理事>

次第は次のとおり。

▷出席者の自己紹介

▷検討会議の趣旨について

▷守秘義務について

▷検討事例

▷まとめ

(詳細 略)

8. その他

なし。

次回理事会

令和2年9月25日<金> 午後8時～

理事会報告



◎令和2年度9月定例理事会

日 時 令和2年9月25日〈金〉

午後8時～9時10分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 敬老の日（9月21日〈月〉）のお祝いについて
＜川田理事＞

送付時期が遅れてしまったが送付することに決定。

内容は例年どおり、図書カード、対象会員は14名である。

2. その他

(1) 1階玄関、階段にある照明のLEDへの変更について

＜有田会長＞

電球の交換に合わせて、照明器具をLEDに変更したい。

協議の結果、了承。

2. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について

（9月23日〈水〉） ＜藤吉副会長＞

次第は次のとおり。

▷ ACP（人生会議）の周知啓発について

▷ 今後の推進会議の予定（会議、研修会、講演会等）について

▷ 区広報紙2月号でのAケアカード広報（特集記事）について

▷ 平成元年度大阪市高齢者実態調査結果について

▷ その他

（詳細 略）

3. 定期地域ケア会議について

（9月25日〈金〉） ＜藤吉副会長＞

次第は次のとおり。

▷ 大阪市浪速消防署「火災について」

▷ コロナウイルスによる影響について

(1) 三師会、浪速区在宅医療・介護連携相談支援室よりアンケート報告

(2) 出席者への事前アンケートの結果 報告

(3) 包括支援センター・ランチ相談対応状況について

▷ その他

（詳細 略）

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について

（9月25日〈金〉） ＜有田会長＞

▷ 開会

▷ 会長挨拶

▷ 連絡事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の件

(2) 新生児聴覚検査への公費助成の普及と充実に関する要望書の件

(3) 令和3年新春互礼会の件

(4) 10月度行事・会合日程の件

(5) その他

▷ 協議

▷ 閉会

（詳細 略）



4. 医療問題研究委員会について
(9月9日〈水〉) <入野理事>
次第は次のとおり。
▷開会
▷会長挨拶
▷委員及び役員の紹介
▷本委員会の開催予定
▷会長講演
「医療制度史から見た我が国の医療の
現状(前半)」
大阪府医師会長 茂松茂人
▷意見交換
▷次回の予定
▷閉会
(詳細 略)

5. その他
なし。

次回理事会

令和2年10月19日〈月〉 午後8時～



9月度 学術講演会報告

- 日 時 9月5日〈土〉 午後2時～
演 題 集学的治療により DKD 進展阻止
を目指す！
講 師 大阪警察病院
糖尿病内分泌内科 部長
安田 哲行 先生
出席者数 11 名
共 催 協和キリン株式会社
情報提供 腎性貧血治療薬「ダルベポエチン
アルファ 注シリンジ KKF」
担 当 富永良子

古典的な糖尿病性腎症は、糸球体過剰濾過による eGFR の上昇から始まり、アルブミン尿の出現、顕性蛋白尿、eGFR の低下へと進行し、末期腎不全に至るのが通常である。しかしながら、近年、アルブミン尿や蛋白尿を伴わず eGFR が低下している、いわゆる非典型的な糖尿病性腎症の患者が多く見受けられるようになってきた。この背景には、血糖コントロールの改善、RAS 系阻害薬による降圧管理が行き届くようになり、アルブミン尿の進展が抑えられるようになったこと。また、糖尿病患者の寿命延伸に伴い、動脈硬化の進展した高齢糖尿病患者の増加が一因と考えられる。このため、2007 年頃より古典的な糖尿病性腎症と非典型的な糖尿病性腎症を包括し、糖尿病が発症・進展に関与していると考えられる慢性腎臓病(CKD)全般を DKD (Diabetic Kidney Disease) とすることが提唱され、現在、この DKD の疾患概念が広く受け入れられるようになってきた。

DKD 進展阻止の意義は生命予後が悪く、莫大な医療費がかかる透析導入の回避することは無論、DKD が発症リスクとなる心血管イベント、心不全、心血管死を抑制することにある。なかでも、顕性アルブミン尿や eGFR 低下例はハイリスクとなるため、積極的な介入が望まれる。一方、非典型的な糖尿病性腎症である、アルブミン尿を呈さない eGFR 低下例に関しては、本邦の疫学データでは末期腎不全、心血管イベント、死亡リスクはそれほど高くないとされている。

DKD 進展阻止のための治療としては、大まかには生活習慣の改善、血糖、血圧、脂質管理、進行した DKD の管理があげられる。生活習慣の管理としては、禁煙、適正体重の維持、適正なエネルギー、蛋白摂取とともに、塩分制限が重要である。しかし、我々のデータを含め、糖尿病患者での塩分制限は十分とはいえない。また、糖尿病患者では塩分味覚異常も多いことから、推定塩分摂取量の計測や、塩分味覚を考慮した食事指導が重要と考える。血糖管理に関しては、単に HbA1c を下げるというのではなく、どのような薬剤

選択をするかが重要となる。特に SGLT2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬は大規模臨床試験により腎保護のエビデンスがでてることより、ハイリスク患者に関しては副作用に十分注意し、適応範囲内での積極的な使用が望まれる。血圧管理に関しては、ACE-I/ARB による降圧に加え、ごく最近、一部の MR 拮抗薬で腎保護のエビデンスが出ていることより、今後 MR 拮抗薬も選択肢の一つになると考えられる。また、降圧薬を開始する前に、DKD 進展に悪影響を及ぼす原発性アルドステロン症のスクリーニングは重要である。脂質管理に関しては、十分なエビデンスはないものの、ガイドラインに沿った治療が必要である。最後に、進行した DKD の管理に関しては患者の病態・状態によりクレメジン®、リン吸着剤、重曹、活性型ビタミン D 製剤、骨粗鬆症治療薬を適宜使用するとともに、腎性貧血に対して、Epo 製剤に加え、HIF-PHD 阻害薬の使用が可能、治療選択肢が広がったと考えられる。これらの DKD 進展阻止のための治療、いずれか一つを行えばいいというものではなく、集学的に行うことがより重要である。また、病診連携による地域ぐるみでの取り組みも重要であり、浪速区においても大阪警察病院、第 2 大阪警察病院を含めた基幹病院との積極的な連携をすすめたい。



11 月度学術講演会のお知らせ

11 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：令和 2 年 11 月 14 日(土)

午後 2 時～ 4 時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「逆流性食道炎治療に PPI 長期投与は必要か～費用対効果の観点も含めて～」

講師：院名大阪府済生会野江病院

消化器内科 部長

羽生泰樹 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



医師年金のおすすめ

日本医師会 50 周年
医師年金

医師には医師専用の
「医師年金」があります

医師年金 検索 <http://nenkin.med.or.jp/>

医師年金について詳しく知りたい

医師年金ホームページをご覧ください。
または、下記までお問い合わせください。
公益社団法人 日本医師会 年金・税制課
TEL: 03-3942-6487 (平日 9 時半～17 時)

受取年金額を知りたい

医師年金ホームページでご加入時の受取年金額のシミュレーションができますのでお試しください。
＜医師年金ホームページ＞トップページ＞シミュレーション＞

日本医師会に加入したい

入会手続きは、所属医療機関のある都市区医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。
医師年金は「日本医師会年金」で、「64 歳 6 ヶ月未満」の方がご加入いただけます (お申込みは 64 歳 3 ヶ月まで)。

20171101S10

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

9月の相談件数は4件でした。在宅医師、訪問介護の紹介と新型コロナウイルスに関する対策の問い合わせでした。支援室の活動も新型コロナウイルスの影響で制約されていますが、10月には、多職種研修の開催もあり徐々に元に戻りつつあります。これからインフルエンザ流行期に入ってきます。大阪府では、65歳以上の方へのインフルエンザ予防接種が無料になっています。ワクチンには限りがありますので医療機関にお問い合わせの上、ご予約いただいてなるべく接種されるようご協力をお願いいたします。インフルエンザ対策としても手洗い、うがい、マスク着用は有効ですので予防対策をお願いいたします。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いいたします。



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（R02.9月度）

① 医科	0件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	0件
④ 病院 地域連携相談室	0件
⑤ 訪問看護	0件
⑥ 介護支援専門員	2件
⑦ 地域包括支援センター	0件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	1件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	1件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（ ）	0件
合 計	4件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	1件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	1件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0件
	④ 歯科に関して	0件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	0件
	⑦ 医療の手続きに関して	0件
	⑧ その他	2件
② 介 護	① ケアマネに関して	0件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	0件
	④ 介護の手続きに関して	0件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	0件
	④ 看取りに関して	0件
	⑤ その他（内容： ）	0件
	合 計	4件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

令和2年11月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

- 保健福祉センター
11月26日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 本田 秀明
眼 科 吉野 成泰
耳鼻科 中村 泰久

1歳6ヶ月児健康診査

- 保健福祉センター
11月5日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 橋村 夏野子
木村 暢佑

BCG接種

- 保健福祉センター
11月19日(木) 午後2時～3時30分
木村 栄作・橋村 夏野子

急病診療所出務

- 中央急病診療所
11月18日(水) 深夜22:00～30:00
菱川 秀夫
- 今里休日急病診療所
11月3日(火) 10:00～17:00
松崎 智彦・川田 信哉



大阪府医師信用組合『いししん』は医師会員の専門金融機関です。

組合員にご加入いただき、当組合のサービス(預金・ローン・お振込み 等)を是非ご利用ください。



自動車の購入資金やディーラーローンお借換えに。

オートローン

無担保型
キャンペーン金利
固定金利 年1.0%
2020年9月末まで

限度額 1,000万円 期間 7年以内

※ 個人名義で500万円以下のお申込みの場合、原則連帯保証人不要です。



お子様の教育に関する資金に。

教育ローン

無担保型
変動金利 年2.475%
限度額 3,000万円 期間 20年以内

有担保型
変動金利 年1.775%
限度額 5,000万円 期間 20年以内

旅行資金、ゴルフやリゾート会員権購入、結婚資金等に。

フリーローン

無担保型
限度額 1,000万円 期間 10年以内

※ 診療所の運転資金、設備資金等の事業性資金にはご利用いただけません。
※ ローン金利はお問い合わせください。

診療所開業に伴う土地購入、テナント敷金等に。

新規開業ローン

無担保型
限度額 5,000万円 期間 20年以内

有担保型
限度額 2億円 期間 35年以内

いししんはクリニックの経営を応援します。

診療所ステップアップローン

無担保型
限度額 5,000万円 期間 20年以内

有担保型
限度額 3億円 期間 35年以内

自宅のリフォーム、住宅の耐震、バリアフリー工事等に。

住宅リフォームローン

無担保型
変動金利 年1.075%
限度額 5,000万円 期間 20年以内

※ 当初5年間、当初10年間の固定金利型もございます。

※表示金利は2020年10月にお借入れいただく場合の適用金利です。お申込時ではなく、実際にお借入れた日付の金利が適用されます。※原則として、ご返済終了時に借入れされる方の年齢が満75歳を超える期間での申込みはお受けできません。※ローンには審査がございます。審査結果によってはご希望に届かない場合がございます。何卒ご了承ください。※上記のローン以外にもローン商品を取り揃えています。詳細については下記の「融資お問合わせ専用番号」までお問い合わせください。担当者が勤務先に訪問することも可能です。お気軽にご相談ください。

大阪府医師信用組合

〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14
(大阪府医師会保健医療センター1階)

融資
お問合わせ
専用番号

担当者による訪問も可能です。
0120-947-604
営業時間 9:00~17:00 / 土・日・祝 休み

いししん 検索
http://www.odcu.co.jp
ホームページ用QRコード





あとがき

山田 郁子

猛暑の夏が過ぎ、急に秋が訪れた感のある今日この頃です。新型コロナと共に過ごした夏となってしまいましたが、今は第2波のピークが過ぎ、下げ止まりの状態といったところでしょうか。専門家の分析では第2波のピークは7月下旬であったようです。

秋といえば、食欲の秋、秋刀魚と名前に秋までついている、秋の魚といえば思い出すサンマですが、庶民の魚といわれたのは昔の話、2000年代後半は30万トン以上取れた年もあったそうですが、2019年は4万5800トンと過去最低を更新しました。サンマが日本周辺に回遊してくる前に、中国と台湾の漁船が公海で大量に先取りしていることが原因の一つとされるそうですが、サンマと同じ餌を食べるマイワシが日本近海で増えているため、サンマの回遊が減る見込みで、2020年の捕獲量は、2019年を下回る可能性がかなり高いそうです。日本の美しい四季、いただくお食事でも四季を感じ、四季のある日本で暮らす幸せを自覚しますが、サンマをいただくと秋が訪れたなあと感じ方も多くいらっしゃるでしょう。サンマに限らず、様々な原因で日本の食卓は大きく変わってきています。

変わっているのは、食卓だけではありません。巻頭言で富永病院副院長の北野先生がコロナ禍で思うこと、詳細に書いてくださいました。コロナ禍で変わったことをあげるときりがありません。入院前、手術前のPCR検査を行う病院も増えています。レスパイト入院の際に、症状の有無に限らず、2週間の隔離期間を設けている病院もありました。入院中、お見舞いも基本的には禁止です。自身、あるいはご家族の入院を経験された方はよくわかっていただけるのですが、入院生活というのは辛いもので、お見舞いにきてくださる方の励ましが大きな力になります。そのお見舞いが不可能、ご家族に会えず、病院で寂しく亡くなられた患者さんも多くいらっしゃるとう

聞きました。現在、Go To Travel、Go To Eat キャンペーンの最中ですが、クリニックの食事はやめ、職場で患者さん、職員さんと会話する際でも、できるだけ距離をあけて会話するようにしています。ソーシャルディスタンスも慣れてくると、逆に密な状態が不快な気分になるようなこともあり、人間というのは慣れる生き物であると実感します。人との距離はとりつつ、心は近いというのが理想なんですが、距離が離れ、心も離れ、..にならないようもうしばらく我慢が必要ですね。

コロナ禍でリモート会議、WEB開催の学会、講演会などが増えました。2020年10月17日、浪速区医師会では初めてのとなるWEB講演会が開催となります。どんな講演会になるのか楽しみです。

北野先生とは直接の面識はございませんが、学生時代、北野先生と同じマンションに住んでいたような記憶があります。コロナ禍での手術、気を遣われることも多いでしょうが、これからもますますのご活躍を祈っております。

もうしばらくコロナとのつきあいは続きそうですが、体の距離はとりつつ、心の距離は離れないよう、毎日を過ごしていきたいと思っています。

目次

	ページ
巻頭言	
コロナ禍で思うこと 北野 昌彦	1
理事会報告(9月14日開催)	3
理事会報告(9月25日開催)	5
9月度学術報告 富永 良子	6
11月度学術講演会のお知らせ	7
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

【区医だより】

発行者 有田繁広
編集者 中村泰久 山本大介
印刷所 株式会社 サビ